

位置図

S=1:25,000

上北郡六ヶ所村大字泊 地内



橋 梁 一 般 図

S=1:500

側 面 図

S=1:500

上部工断面図

S=1:100

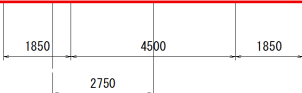
時代	地層名	記号	地質層序表
			土質・岩質
第四紀	表土層	Ts	砂質シルト、砂混じりシルト、有機質シルト
	崩壊土	Dt	礫混じり粘土、礫混じり砂質シルト、粘土混じり礫、礫混じり砂質粘土、粘土混じり砂礫
	礫質土層	Hg	砂礫、粘土混じり砂礫
新第三紀	強風化基盤岩	W1-BR	強風化凝灰岩、強風化凝灰角礫岩
	風化基盤岩	W2-BR	風化凝灰角礫岩、風化凝灰岩
	基盤岩	BR	凝灰岩、凝灰角礫岩

◆地質調査の想定数量の考え方

- 既往の地質調査結果より、全て軟岩にて数量想定
- 杭先端までの地層確認のため、地質調査の延長は橋台L=15m、橋脚L=20mで推定
- 橋台の地質調査は、現在想定した橋台位置のうち、傾斜前側となる橋台前側側（谷側）での実施を想定
- 一軸圧縮試験は、杭先端付近、各 Br で 1 箇所を想定
- 仮設橋台用に A1-P1 間の 1 箇所で地質調査を想定橋台同様 L=15m で推定

◆橋梁詳細設計のためのボーリングについて

- 急峻地形につき、地層傾斜確認のための追加 Br やジャスト位置での Br が必要となる可能性があるが、現時点では未確定。現時点で概算数量を計上する場合、当該数量と同数量を見込むのが安全側の考え方である。



設計条件

路線名称	治陸奥横浜停車場線
交差条件	馬門川
道路規格	第3種第4級
設計速度	V=50km/h
橋の耐荷性能	
橋長	L=103.000m
桁長	L=102.400m
支間長	L=53.700m+46.700m
幅員	有効幅員 W=7.0m (0.75+2.75+2.75+0.75)
構成	総幅員 W=8.2m
斜角	90° 00' 00"
設計活荷重	B活荷重
雪荷重	W=1.0kN/m ²
舗装	車道 アスファルト舗装 t=70mm
構成	歩道 —
形式	上部構造 P C T ラーメン橋 (張り出し架設工法)
	下部構造 淨T式橋台、柱式橋脚
	基礎構造 杭基礎 (深礎杭φ2000、φ7000)

平 面 図

S=1:500

